

第 38 回法人会全国青年の集い福井大会に参加して

青年部会長 西岡 稔晴

11月7日、8日に行われた第38回法人会全国青年の集い福井大会に井内青年部副部長と西尾会員と猪井事務局長とともに参加してきました。

初日の14時から福井市で租税教育活動と健康経営大賞のプレゼンテーションが行われ、租税教育活動については各单位会での活発な活動を、健康経営では各企業の取組について発表が行われました。

夕方からは部会長ウェルカムパーティーが催され、翌日の部会長サミットにむけて交流を深めました。

翌8日には、越前市のサンドーム福井にて会員交流分科会(1回目テーマ:租税教育活動)に西尾会員が出席し、また、会員交流分科会(2回目テーマ:健康経営プロジェクト)には井内青年部副部長が出席しました。

同時刻に部会長サミットが開催され、「部会員増強について」をテーマとして、「会員拡大について」の講演会と部会員増強に成功している各单位会からの事例紹介が行われ、円卓会議において各会の取組や悩みについて活発な議論が行われました。

午後からはサンドーム福井へ移動し、記念講演会で元フジテレビアナウンサーの笠井信輔氏の「足し算で生きる～がんステージ4からの生還～」を聞き、健康について深く考えさせられました。

続く大会式典では、租税教育活動プレゼンテーションの最優秀賞が発表され、東京局連の立川法人会が受賞されました。立川法人会は、2010年の栃木大会で「立川モデル」として最優秀賞を受賞していましたが、租税教室をその場限りにしない・授業の記憶を定着させることが重要と考え、「シン・立川モデル」として「覚える」より「忘れない」ことを重視し、1万円札の大きさのメモ用紙が入った「100万円メモ」やQRコードを利用した動画配信コンテンツの提供を行うなどの活動が評価されたものと思います。

健康経営大賞の最優秀賞は、各单位部門からは東京局連の世田谷法人会が、企業部門からは金沢法人会の株式会社金沢シールが受賞されました。

福井大会では、部会員増強や租税教室活動・健康経営についてのさまざまな取り組みを学び、今後の青年部会の運営に生かしたいと思います。